

私の暮らしと夢

動画リンク : <https://youtu.be/p5EWGHKZtwY>

今回は「私の暮らしと夢」について学びながら、日本語を勉強しましょう。

この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には ふりがな があります。後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に ふりがな はありません。学習にお役立てください。

■自己紹介

はじめまして。私の名前は上間広一(うえまこういち)です。

沖縄県的那覇市という場所で生まれ、27歳までずっと沖縄で育ちました。現在、31歳で、まだ結婚はしていません。

私は身長が177センチメートルで、体重は65キログラムです。

目が少し悪いので、普段はメガネをかけたり、コンタクトレンズを使ったりしています。

視力があまり良くないので、運転するときや仕事中にはメガネかコンタクトレンズが欠かせません。

今は東京で一人暮らしをしています。東京に来たのは、仕事のためです。

私は自動車メーカーの工場に働いていて、主に車を組み立てる仕事をしています。工場の仕事は体力が必要ですが、やりがいも感じています。

毎日、少しずつ新しいことを学びながら、車づくりの技術を身につけています。

趣味は散歩です。人によっては「散歩なんて、まるでおじいちゃんの趣味だね」と言われることもありますが、私はそんなことを気にしません。

散歩をしていると、頭がすっきりして、心が落ち着きます。

特に、朝早くや夜遅くの散歩が好きで、静かな街の風景を楽しむのが私のリラックスタイムです。

私が散歩をするのは、ただ自分が好きだからです。誰かに見せるためでも、評価されるためでもありません。

自分のための大切な時間であり習慣です。

■私の両親

私の両親は沖縄で生まれ育ち、今も沖縄に住んでいます。父は60歳で、母は58歳です。

父は小さな工場で働いており、機械を修理する仕事をしています。

母は地元のスーパーで「パート」をしていて、いつも家事をしながら私たちを育ててくれました。

「スーパー」というのは、「スーパーマーケット」のことで、多くの日本人は「スーパー」と呼んでいます。

ちなみに、母が働いているスーパーは沖縄では有名な「サンエー」というスーパーです。

その他にも、沖縄で有名なスーパーには、「ユニオン」や「かねひで」などがあります。

パートというのは、短い時間だけ働く仕事のことです。

両親はとても優しく、私が小さい頃からいつも応援してくれました。

特に、私が東京に引っ越して一人暮らしを始めたときは、すごく心配していたようですが、それでも「頑張れ」と言って送り出してくれました。

父は無口でありしゃべりませんが、いつも行動で示してくれるタイプです。

休日には一緒に釣りに行ったり、山でバーベキューをしたりした思い出がたくさんあります。

母はとてもおしゃべりで明るく、家の中はいつも笑い声が絶えませんでした。

今でも電話で話すと、つい長話になってしまいます。

沖縄の自然の中で過ごした子供時代は、私にとってかけがえのない思い出です。

両親から教えてもらった大切なことは、今でも私の心の中に生きています。

■私が沖縄から東京に来た理由

私は沖縄で生まれ育ち、27歳まで沖縄に住んでいました。

沖縄は本当に素晴らしい場所で、1年中暖かく、海もきれいで、人々もとてもやさしいです。

特に、沖縄の青い海と白い砂浜は、私の心の中で特別な存在です。

子供の頃は、よく友達と一緒に海で遊んだり、家族でバーベキューをしたりしていました。

そんな沖縄での生活は、私にとってかけがえのない思い出です。

しかし、沖縄での生活にはひとつ大きな問題がありました。それは、仕事がとても少ないということです。

もちろん、まったく仕事がないわけではありませんが、働き口が限られています。

特に私のように製造業で働きたい人にとっては、選択肢が非常に少ないです。

多くの若者たちが、より良い仕事を求めて「内地」に移り住んでいます。私もその一人でした。

内地というのは、沖縄や北海道以外の日本の本州、四国、九州などの地域のことを言います。

内地に行くことを決めた理由の一つは、給料の差です。

たとえば、同じ仕事をして、沖縄では月給が15万円しかもらえず、東京では25万円もらえることがあります。

このような給料の差は、生活に大きな影響を与えます。

確かに、東京は家賃が高いですが、私の場合、会社の寮に住むことができるので、家賃の心配はそれほど大きくありません。

寮の家賃は月に3.5万円ほどで、これが普通に賃貸で家を借りると8.5万円くらいします。

このような条件で働けることが、私が今の職場を選んだ大きな理由です。

また、東京には多くの人が集まっていて、仕事だけでなく、新しい友達や経験も得ることができます。

私はこの新しい環境で、自分の成長を感じながら生活しています。

沖縄から東京に来たことは、私にとって大きな決断でしたが、今ではこの選択をして良かったと思っています。

■私の仕事について

私の仕事は、自動車メーカーの工場です。具体的には、車の組み立てラインで働いています。

組み立てラインというのは、車を一つ一つの部品から順番に組み立てていく場所です。

私たちはチームで協力しながら、エンジンやタイヤ、内装などを取り付けて、最終的に一台の車を完成させます。

毎日同じような作業を繰り返すことが多いですが、それでも注意を怠ることはできません。

なぜなら、車は安全に運転できることが一番大切だからです。

少しのミスでも、車の性能や安全性に大きな影響を与えることがあります。そのため、私はいつも細心の注意を払って仕事をしています。

この仕事をしていると、車に対する知識や技術が自然と身についていきます。

たとえば、エンジンの仕組みや、車のボディがどのように作られているかなど、今まで知らなかったことを学ぶことができました。

また、工場内では機械を使うことが多いので、機械の操作やメンテナンスについても詳しくなりました。

工場の仕事は体力を使うことが多く、時には疲れることもありますが、自分が作った車が実際に道を走っているのを見ると、とても誇りに思います。

この仕事を通じて、ものづくりの楽しさや、仲間と一緒に達成感を共有する喜びを感じることができます。

また、私が働いている会社では、時々新しい技術や製品が導入されることがあります。

そのたびに新しい知識を学び、新しい挑戦ができるので、日々の仕事に新鮮さを感じることができます。

■私の生活

私は月曜日から金曜日まで、毎日工場で働いています。

土曜日は2回に1回の割合で仕事があり、今週の土曜日が休みなら、来週の土曜日は仕事というパターンです。

日曜日は必ずお休みで、仕事はありません。

このため、週末の過ごし方が変わることが多いですが、日曜日にはリラックスする時間をしっかり取るようにしています。

私の会社では、1年に2回、12月と8月に1週間ほどの連休があります。

これらの連休は、沖縄に帰って家族と過ごす絶好の機会です。

また、7月と11月にはボーナスが支給されます。7月のボーナスは「夏のボーナス」、11月のボーナスは「冬のボーナス」と呼ばれています。

それぞれ給料の2ヶ月分くらいが支払われます。

会社によっては、ボーナスの時期が少し違うこともあります。

たとえば、8月と12月にボーナスが出る会社もあるようです。

しかし、ボーナスは必ずもらえるものではなく、会社の経営がうまくいっているときにだけ支給されます。

私の年収はだいたい480万円くらいですが、そのうち約80万円は税金や保険料として引かれます。

つまり、実際に私の口座に入ってくるお金は約400万円です。

月々の給料は約30万円ですが、税金や保険料を引かれると手元に残るのは約24万円です。

沖縄で同じように30万円稼ぐのは難しいことなので、今の職場の環境には満足しています。

さらに、会社の寮があり、家賃がとても安いので、生活費の負担が軽くなっています。

仕事の日のごはんは、だいたいパンとコーヒー、それにヨーグルトです。

朝は忙しいので、これくらいの簡単な食事が私にはちょうどいいです。

昼ごはんは、会社の食堂、いわゆる「社食」で食べます。

この社食はとてもおいしくて、しかも安いです。

たとえば、普通のお店で1,000円くらいするような食事が、社食ではたったの350円で食べられます。

このおいしい昼ごはんのおかげで、午後の仕事も頑張ることができます。

このような社食が会社にあるのは、従業員の満足度を高めて、頑張ってもらったり、辞めて他の会社に行かないようにするためです。

休日は、たいてい家でリラックスしています。特に、日曜日は一日中ゆっくり過ごすことが多いです。

読書をしたり、映画を観たりしてリフレッシュします。もっとも多い休日の過ごし方は散歩に出かけることです。

散歩をすることで、頭がすっきりして、体もリフレッシュできます。

近所の公園で自然を感じながら歩くのが、私のお気に入りの過ごし方です。

私の生活は、とてもシンプルですが、充実しています。仕事とプライベートのバランスを取りながら、毎日を大切に過ごしています。

■私の夢

私の夢は、たくさん貯金をして、沖縄に帰り、家を建てて、両親と一緒に暮らすことです。

沖縄で生まれ育った私は、やはり故郷が恋しいです。

そもそも私が沖縄を離れたのは沖縄が嫌いなわけではなく、仕事や自分の夢のためでした。

東京での生活は刺激的で、新しい経験もたくさんありますが、心のどこかでいつも沖縄を思っています。

特に、両親が年を重ねるにつれて、もっと近くで一緒に過ごしたいという気持ちが強くなっています。

今は、東京に住む私も、沖縄の両親も犬を飼っていませんが、私が沖縄に家を建てたら犬を飼おうと両親と話しています。

私も両親も動物が大好きですが、今の沖縄の実家には、庭がありません。

実家とは、両親が住む家という意味です。

犬は猫と違い、たくさんの散歩を必要とします。

そのため、自分が庭付きの家を建てたときには、犬を迎えようと考えています。どんな犬を飼うのか、3つの候補があります。

・ボーダーコリー

ボーダーコリーは「世界一賢い犬」と言われているように、非常に賢く、しつけがしやすいことで知られています。

私も両親も活発で賢い犬が好きで、家の庭で一緒に遊んだり、芸を教えたりしたいと思っています。

また、ボーダーコリーは運動量がとても多く、散歩が好きなので、沖縄の自然の中で一緒に散歩を楽しむのにぴったりです。

・柴犬

柴犬は日本の伝統的な犬種で、沖縄でも多くの人に親しまれています。私たち家族にとって、柴犬の忠実で独立した性格はとても魅力的です。

また、柴犬は適度な運動量が必要で、家の庭や近所を散歩するのに理想的です。

柴犬のかわいい姿と優れた忠誠心が、私たち家族にとって心強い存在になると考えています。

・シベリアンハスキー

シベリアンハスキーはその美しい外見と友好的な性格で知られています。特に私は、その青い目とふわふわした毛並みが大好きです。

シベリアンハスキーは大型犬ですが、広い庭があれば十分な運動ができ、沖縄の自然の中で一緒に過ごすことができると考えています。

ただ、シベリアンハスキーは寒さに強く、暑さに弱い犬なので、1年中暖かい沖縄で健康で幸せに暮らしていけるか少し心配しています。

もし、シベリアンハスキーを飼うのであれば、そういうことももっとたくさん調べる必要があると思っています。

私の給料は1ヶ月30万円、手取りで24万円くらいです。その中から、毎月15万円を貯金しています。

これが少し厳しいと感じることもありますが、夢を実現するために頑張っています。

また、1年に2回のボーナスもできるだけ貯金するようにしています。

ボーナスの約80%を貯金に回していて、その分で少しずつ夢に近づいていると感じます。

私は毎年、特定の金額を貯金するようには決めていませんが、だいたい200万円以上は貯金するようにしています。

この貯金額が私にとっては重要です。なぜなら、沖縄に家を建てるためにはそれなりの資金が必要だからです。

家を建てることは大きな夢ですが、それを実現するために、今からしっかりと準備しておく必要があると考えています。

ちなみに、私の貯金目標額は2,000万円です。

正直、私の年収は多くありませんが、それでも毎月これだけ貯金できるのは、やはり「住み込み」で働いているおかげです。

会社の寮に住んでいるので、家賃の負担がとても小さいです。

普通に東京で家を借りると、家賃だけで大きな出費になりますが、私の場合、寮の家賃は月に3.5万円ほどです。

このおかげで、貯金に多くのお金を回すことができています。

寮での生活には、プライバシーが少ない面もありますが、それでも今の私には理想的な環境です。

将来、沖縄に帰るための資金を確保するために、この環境を最大限に活用しながら、夢の実現に向けて努力を続けています。

■結婚について

私は31歳で、まだ結婚していませんが、いつかは結婚したいと考えています。

結婚は人生の中でとても大切な出来事だと思っています。

結婚することで、誰かと一緒に生きていく責任や喜びを共有できると考えています。

結婚相手は、まずお互いを尊重し合い、理解し合えることが大切だと思います。

何か問題があったときでも、話し合っ解決できる関係が理想です。

また、結婚後もお互いの夢や目標を支え合い、一緒に成長していけるようなパートナーシップを築きたいです。

今は東京で仕事を頑張っていますが、将来的には沖縄に帰り、家を建てて、家族と一緒に暮らしたいと思っています。

その中で、結婚も考えていけたらいいなと思っています。

沖縄の自然の中で、家族と一緒に穏やかで幸せな生活を送ることが、私の目標の一つです。

ただ、結婚にはタイミングも重要だと思っています。焦らず、自然な流れでいい相手と出会えることを期待しています。

今私が暮らしている東京で、そういったパートナーに出会うかもしれませんし、数年後に沖縄に戻ってから出会うかもしれません。

人生はどんなタイミングでどんな人と出会うか分かりませんが、それもまた楽しみの一つだと思っています。

大切なのは、焦らずに自分らしく過ごしていくことです。

「私の暮らしと夢」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。

それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

